

普國水法ト我河川法 (承前)

准員 工學士 法學士 笹川恭三郎

第三章 水利組合

我國ニハ比較的最近ノ立法ニ係ル水利組合法(明治四十一年四月十三日法律第五十號)ガアツテ水利組合ニ關スル法制ハ略完備シテキルカラ本編ニ於テハ此ノ章ヲ省略スルコト、シタ

第四章 洪水豫防

第一節 水流ノ洪水流過區域ニ於ケル警察制限

第二百八十四條

(1)縣知事又ハ數箇ノ縣ニ關係スルトキハ州知事ハ洪水ノ危險ヲ豫防スル爲一八八三年七月三十日地方行政法第三百二十七條及第三百二十九條ニ依リ左ノ警察令ヲ發スルコトヲ得

甲左ノ行爲ヲ爲スニハ郡長ノ許可ヲ受クベシ

一 洪水流過區域ニ於ケル土地ノ掘鑿及沿岸地又ハ必要ナル場合ニ於テハ其ノ附近地ニ於ケル土石砂礫其ノ他ノ物ノ採取

二 洪水ニ依リテ洗ヒ去ラルル虞アル土地ニ於ケル竹木ノ栽植

乙郡長ハ左ノ行爲ヲ禁止スルコトヲ得

一 土砂石木鑿碎其ノ他ノ洪水ノ疏通ヲ妨クベキ物件ヲ洪水流過區域ニ放置スルコト
 二 洪水ノ流過スベキ土地並第一種及第二種水流ノ沿岸地ヲ耕作、開墾、草刈、牧畜等ニ因リ弛緩セシムルコト
 必要アルトキハ其ノ附近地ニ付亦同シ

三 第一種及第二種水流ニ於テ損害ヲ豫防スベキ設備ヲ施サズシテ沿岸地ヲ木材其ノ他ノ物件ノ物揚場ニ供シ又
 ハ家畜ノ給水所ニ利用スルコト

丙土地所有者ハ郡長ノ命令ニ依リ洪水流過區域内ニ存スル野生ノ樹木並其ノ區域外ニ存スル樹木ニシテ水路ニ倒レ
 又ハ流水ニ依リテ洗ヒ去ラルル虞アルモノハ其ノ選擇ニ依リ自ラ之ヲ除却シ又ハ行政廳ノ除却ニ對シテ異議ノ申
 立ヲ爲スコトヲ得ズ此ノ場合ニ於テハ所有者ハ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ザルモノトス

(2) 警察行政ガ郡長ノ監督ニ服セザル市部ニ在リテハ地方警察官廳前項ノ郡長ノ職務ヲ行フ

(3) 第一項甲第一號及第二號並乙第二號ノ場合ニ於ケル土地ノ區域ハ警察命令ヲ以テ之ヲ定ム

(4) 警察命令ニハ百五十馬克以内ノ罰金ヲ附スルコトヲ得

(5) 警察命令ノ草案ハ命令ノ發布前六週間市町村ニ公示シテ公衆ノ閱覽ニ供スベシ

(6) 第一種水流ノ維持及改修ニ關スル水流工事行政並堤防行政廳(第三百九條)ガ堤防組合ノ地域内ニ於テ其ノ職權ヲ
 行使スルニ際シテハ第一項ニ依リテ發セラレタル命令ノ規定ハ適用ナキモノトス

第二節 水流ノ氾濫區域ニ關スル規定

第二百八十五條

(1) 洪水ノ際危險ヲ生ズル虞アル水流ニ對シテハ第二百八十六條ニ依リ無堤部ニシテ本節ノ規定ヲ適用

スベキ氾濫區域 *Überschwemmungsgebiet* ヲ定ムルコトヲ要ス

(2) 前項ノ氾濫區域ニ於テハ許可ヲ得ルニ非ザレハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 盛土及地上工作物(堤防堰堤其ノ他之ニ類スル施設、建物牆壁其ノ他ノ建設物、煉瓦製造所、圍障、樹木ノ植

込ミ其ノ他之ニ類スルモノノ新築増築又ハ改築

二 堤防堰堤其ノ他之ニ類スル施設ノ全部若ハ一部ノ除却

(3) 危急ノ場合ニ於テ危険ノ繼續スル間施設スベキ應急防禦手段ハ許可ヲ要セズ此ノ一時的施設物ヲ危険ノ去レル後ニ於テ尙存續セシムル必要アルトキハ遲滞ナク許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二百八十六條

(1) 本節ノ規定ノ適用ヲ受クベキ水流ハ名簿ニ之ヲ記載ス名簿ハ州ノ區域ニ在リテハ之ヲ管轄スル州知事王領地ニ在リテハ縣知事之ヲ作製ス

(2) 名簿中ニハ各水流ニ付前條第二項及第三項ノ規定ハ氾濫區域ノ全體及水流ノ全長又ハ氾濫區域若ハ水流ノ一部ニ之ヲ適用スベキコトヲ定ム又名簿中ニハ前條第二項ノ工作物中洪水ノ疏通ニ影響スルコト少ナキ爲許可ヲ要セザル事項又ハ水流警察官廳ニ依リ取消サルルコトアルベキ條件ヲ以テ許可シ得ベキ事項ヲ記載スルコトヲ得

(3) 名簿ハ各水流ニ付必要ナル場合ニハ平面圖ヲ添付シテ之ヲ公示スベシ其ノ抄本ハ郡長市部ニ在リテハ地方警察官廳之ヲ備付ケ且保管ス其ノ他第五條及第六條ノ規定ヲ準用ス

(4) 本法施行ノ際一九〇五年八月十六日洪水豫防法第十二條ニ依リ既ニ名簿ヲ作製シタルモノニ付テハ本法ニ依リ更ニ名簿ヲ作製スルコトヲ要セズ

第二百八十七條

(1) 第二百八十五條ノ許可ハ第一種水流ニ在リテ縣參事會其ノ他ノ場合ニ於テハ郡(市)參事會之ヲ與

(2) 重要ナル場合ニ於テハ許可官廳ハ決定ヲ爲スニ先チ水流改良工事職員、水流維持義務者、沿岸ノ維持改修ヲ目的トスル水利組合ノ管理者其ノ他ノ關係人、組合堤防ノ地區ニ關スル場合ニ於テハ其ノ堤防組合ノ管理者及許可ノ申請ニ對シ疑アルトキハ申請人ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス許可官廳ハ期間ヲ指定シ期間經過ノ後ハ異議ノ申立ヲ爲シ得ザルベキコトヲ豫告シテ異議ヲ申立ツベキコトヲ催告スルコトヲ要ス

(3) 備告ハ郡報及許可官廳ノ裁量ニ依リ地方公布例又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ公告スルコトヲ要ス單ニ市部ニ關係アルモノハ市部ニ於ケル慣行ニ依リ之ヲ公告ス

第二百八十八條 (1) 許可ハ洪水防禦ヲ理由トスルニ非ザレバ之ヲ拒否シ又ハ之ニ負擔ヲ命ジ若ハ制限ヲ附スルコトヲ得ズ

(2) 工作物ノ新築ニ對スル許可ハ其ノ洪水ノ流過ニ及ボス惡影響ガ出願人ノ費用ニ於テ施行セラルル改良工事ニ依リテ相殺セラルベキトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

(3) 改築セラルベキ工作物ノ位置ガ既存ノ工作物ノ位置ニシテ且之ニ因リ洪水ノ疏通ニ對スル影響從前ト異ラザルトキハ異議ノ申立ナキ限り改築ノ許可ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ許可ノ拒否ハ異議申立人ノ補償ニ依リテノミ之ヲ爲スコトヲ得補償額ハ縣參事會之ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ送達後三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二百八十九條 許可官廳ノ決定ニ對シテハ法定期間内ニ異議ノ申立ヲ爲シタル者及許可ヲ拒否セラレ又ハ許可ニ負擔若ハ制限ヲ附セラレタル者ハ四週内ニ農林務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第二百九十條 第二百八十五條ヲ施行スル爲ニ必要ナル命令ハ第一種水流ニ關シテハ縣知事其ノ他ノ水流ニ關シテハ郡長市部ニ在リテハ地方警察官廳之ヲ發ス

第三節 東海 ○五五〇 ノ海堤

第二百九十一條 (1) 東海ノ潮害ヲ防禦スベキ堤防ハ縣參事會ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ増築改築又ハ其ノ全部若ハ一部ノ除却ヲ爲スコトヲ得ズ

(2) 本條ヲ施行スル爲ニ必要ナル命令ハ縣知事之ヲ定ム

(3) 第二百八十五條第三項、第二百八十七條第二項第三項、第二百八十八條第一項及二百八十九條ハ本條ノ堤防ニ之ヲ適用ス

第四節 洪水疏通ノ妨害ト爲ルベキ物ノ除却

第二百九十二條 (1) 洪水ノ危険ヲ豫防スル爲必要アルトキハ盛土及地上工作物(第二百八十五條第二項)ニシテ洪水疏通ノ妨害トナルベキモノノ全部又ハ一部ノ除却ハ一八七四年六月十一日公用徵收法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

(2) 前項ノ除却ハ縣參事會水流警察官廳ノ意見ヲ聞キ理由ヲ附シテ之ヲ決定ス此決定ニ對シテハ二週間以内ニ土木大臣ニ訴願スルコトヲ得一八八三年七月三十日地方行政法第一百七條ニ依ル會長ノ收用認定權ハ此場合ニ之ヲ適用セズ

(3) 國又ハ市町村ニ於テ收用ヲ必要トスル場合ニハ除却ニ因リ利益ヲ受クル土地若ハ工作物ノ所有者及公共團體ヲシテ其ノ受クベキ利益ニ應ジテ工事費ヲ負擔セシムルコトヲ得此ノ負擔ハ其ノ受クベキ利益ノ限度ヲ超過スルコトヲ得ズ縣參事會ハ起業者ノ申請ニ基キ分擔金ノ額ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ二週間以内ニ中央水流官廳ニ訴願スルコトヲ得

トヲ得

第二百九十三條 第二百三十八條又ハ第二百四十五條第一項第四號ニ依リ洪水疏通ノ妨害物除却ヲ目的トスル組合ニ對シ

シ工事費ガ工事ニ因リテ受クル利益ニ比シ著シク大ナルトキ又ハ其ノ負擔ニ堪エザルトキハ國及州ハ費用ノ一部ヲ補助スベキモノトス國ノ補助額ハ州ノ補助額ヲ下ルコトヲ得ズへつせん・なつそお州ニ在リテハ縣王領地ニ在リテハ地方公共團體州ニ代位ス

第五節 堤防組合

第二百九十四條 (1) 共同ノ危険ヲ避ケ又ハ土地ノ開發ヲ助長スル爲必要アルトキハ洪水氾濫區域ノ土地所有者ハ過半数ノ同意ヲ以テ共同シテ堤防及之ニ附屬スル保安排水灌漑ノ設備ヲ新築増築維持スル爲堤防組合ヲ組織スルコトヲ得

但シ此ノ場合ニ於テハ沿堤土地所有者ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス

(2) 共同ノ危険ヲ避クル爲ニ必要ナル場合ニ於テハ利害關係人ノ同意ナキトキト雖堤防組合ハ之ヲ組織スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ豫メ水流顧問ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス

第二百九十五條 堤防組合ハ左ノ場合ニ於テハ特ニ之ヲ組織スルコトヲ要ス

- 一 無堤部ニ屬スル低地ノ所有者ニ前條ニ掲ケル設備ヲ共同シテ築造維持スルノ義務ヲ負擔セシムル必要アルトキ
- 二 有堤部ニ屬スル低地ノ所有者ニ從來關係人ノミニ於テ施設維持シタルモノヲ共同シテ改良維持スルノ義務ヲ負擔セシムル必要アルトキ

- 三 前號ニ掲ケタル施設及之ニ依リテ保護セラルル土地ノ所有者ヲ既存ノ堤防組合ニ加入セシムル必要アルトキ
- 四 既存堤防組合ノ施設ヲ増築シ無堤部ノ土地ニ延長セシムル必要アルトキ

第二百九十六條

(1) 堤防組合ノ組織ニ必要ナル表決ハ堤防ニ依リテ保護セラルベキ土地ノ面積並地租總額ノ過半數ヲ占ムルコトヲ要ス土地ガ整理手續中ニシテ特別ノ評價ヲ爲スベキモノナルトキハ其ノ價格又ハ收入ヲ標準トスベシ

(2) 前條第三號及第四號ノ場合ニ於テハ第一項ニ依リ既存堤防組合ニ屬セザル土地ノ過半數ヲ得ル外新組合ノ組織ニ對シ既存堤防組合ノ同意アルニ非ザレバ第二百九十四條ノ過半數ヲ占メタルモノト看做サズ

第二百九十七條

堤防組合組織手續ニ關シテハ水利組合組織手續ニ關スル第二百四十八條乃至第二百七十三條ヲ準用ス

第二百九十八條

(1) 數箇ノ堤防組合ガ其ノ堤防ノ維持修繕又ハ灌漑排水設備ノ新設増設ニ付共同ノ利害關係ヲ有スルトキハ左ノ決議ヲ爲スコトヲ得

一 堤防組合ヲ解散シテ一ノ大堤防組合ヲ組織スルコト

二 堤防組合ヲ解散スルコトナク共同ノ事業ヲ施行スル爲聯合組合ヲ組織スルコト

(2) 新堤防組合ノ法律關係ハ定款ニ依リ之ヲ定ムベシ定款ハ縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

(3) 關係堤防組合間ニ新堤防組合ノ組織又ハ其ノ定款ニ付同意セザルモノアル場合ニ於テハ新堤防組合ハ賛成堤防組合ニ屬スル土地ガ第二百九十六條第一項ノ標準ニ依リ反對堤防組合ニ屬スル土地ヲ超過スルトキニ限り前條ニ依リ定

メラルベキ定款ニ依リテ組織スルコトヲ得ルモノトス

(4) 解散セル堤防組合ノ權利義務ハ認可又ハ定款ノ成立ト共ニ凡テ新堤防組合ニ移轉スルモノトス

第二百九十九條

堤防長トナル

(1) 堤防組合ニ理事一名若ハ數名ヲ置ク理事ハ堤防長トシテ組合ヲ統理ス理事數名アルトキハ其ノ一人

(2) 堤防長ノ選舉ハ監督官廳ノ認可ヲ要ス監督官廳ノ認可ヲ得ザルトキ又ハ理事若ハ役員ヲ選舉スル能ハザルトキハ監督官廳ハ第二百十八條ノ職權ヲ行使スルコトヲ得

督官廳ハ第二百十八條ノ職權ヲ行使スルコトヲ得

(3) 第二百十二條第二項乃至第四項ノ規定ハ本條ニ之ヲ適用ス

第三百條

監督官廳ノ要求アルトキハ堤防組合ハ専門ノ知識アル技術員一名ヲ任用スルコトヲ要ス技術員ノ任用ハ監督官廳ノ認可ヲ要ス堤防組合技術員ヲ任用セザルトキ又ハ任用ニ付監督官廳ノ認可ヲ得ザルトキハ監督官廳ハ第二百十八條ノ職權ヲ行使スルコトヲ得

第三百一條

(1) 堤防組合及其ノ組合員ノ法律關係ハ本法ニ規定スルモノノ外定款ノ定ムル所ニ據ル

(2) 定款ニハ第二百十四條ヲ準用ス

第三百二條

(1) 堤防組合ハ國之ヲ監督ス

(2) 監督ノ目的ハ共同ノ設備ヲ適法ニ維持修繕セシメ及組合ノ事務ヲ法令及定款ニ從ヒテ執行セシムルニ在リ

(3) 堤防組合ノ堤防ノ全部若ハ一部ガ第一種水流ノ堤防ナルトキハ其ノ堤防組合ハ第一次ニ於テ縣知事、第二次ニ於テ

州知事之ヲ監督シ其ノ他ノ堤防組合ハ第一次ニ於テ郡參事會ノ會長タル郡長市部ニ在リテハ地方警察官廳、第二次

ニ於テ縣知事之ヲ監督ス堤防組合ノ事務所在地ヲ管轄スル官廳ヲ以テ主管官廳トス

(4) 堤防組合ノ地域内ニ下級堤防組合組織セラルトキハ下級組合ノ監督ハ第一次ニ於テ主タル堤防組合ノ堤防長之ヲ行フベキコトヲ定款ニ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前項ニ依リ主タル堤防組合ノ第一次及第二次ノ監督官廳タ

ルモノハ下級堤防組合ノ第二次及第三次ノ監督官廳トナル本項ニ於テ監督官廳ニ對シ抗告ヲ爲スベキトキハ第一次ニ主タル堤防組合ノ堤防長ニ爲スベク第二次ニ主タル堤防組合ニ對シテ第一次ニ監督スル官廳ニ爲スベク此ノ監督官廳ノ決定ニ對シ第三次ニ抗告セムトスル時ハ主タル堤防組合ノ第二次監督官廳ニ對シテ之ヲ爲スベキモノトス

(5) 監督官廳ハ其ノ命令ヲ直接ニ執行スルノ權限ヲ有ス

第三百三條 (1) 土地ノ讓與、債務ノ負擔(負債額ヲ増加セザル場合ヲ除ク)及水門ノ新築ヲ爲スニハ監督官廳ノ許可ヲ

要ス

(2) 堤防長及技術員ノ報酬ニ關スル決議亦監督官廳ノ許可ヲ要ス

(3) 報酬ニシテ明ニ不充分ナリト認ムルトキハ監督官廳ハ之ヲ適宜ニ決定スベキモノトス堤防組合ノ他ノ役員ニ對スル

給料ニ付亦同ジ

(4) 右ノ外監督官廳ノ許可ヲ要スル事項ハ定款ニ於テ之ヲ定ム

第三百四條 (1) 法令又ハ定款ニ依リ堤防組合ノ義務ニ屬スル事業及支出ニシテ官廳ノ權限内ニ於テ命ゼラレタルモノヲ

豫算ニ計上セズ又ハ其ノ命ニ從ハザルトキハ監督官廳ハ其ノ理由ヲ明示シ強制シテ豫算ニ計上シ特別支出ヲナシ必

要ナル費用ノ徵收ヲ爲スコトヲ得

(2) 前項ノ處分ニ對シテハ堤防組合ハ二週間以内ニ第二次監督官廳ニ訴願スルコトヲ得其ノ裁決ニ對シテハ更ニ同一期

間内ニ農林務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三百五條 堤防長ハ堤防組合ノ機械ノ作業ニ從事スル職員ニ對シテハ特ニ三十馬克以下ノ過料ヲ附シ職務ノ履行ヲ強

制スルコトヲ得過料ハ堤防組合ノ收入トス

第三百六條 堤防組合ノ堤防其ノ他ノ施設ヲ保護スル爲必要ナル警察命令ハ一八八三年七月三十日地方行政法第三百三十

七條及第三百二十九條ノ規定ニ從ヒ縣知事ヲ第一次(第三百二條第四項ノ場合ニハ第二次)ノ監督官廳トスル堤防組合

ニ在リテハ其ノ土地ニ付管轄權ヲ有スル縣知事其ノ他ニ在リテハ土地ヲ管轄スル郡長市部ニ在リテハ地方警察官廳一郡又ハ數郡ニ亘ルトキハ縣知事、一地方警察管區又ハ數地方警察管區ニ亘ルトキハ郡長之ヲ發ス堤防組合ニ依リ維持セラルル水流又ハ堤防行政廳ノ監督ニ服スル水流ハ堤防組合ノ施設中ニ含マルルモノトス

第三百七條

(1) 前條ノ堤防其ノ他ノ施設ヲ保護スベキ警察行政ハ堤防長之ヲ行フ堤防警察事務又ハ其ノ事務ノ一部ハ之ヲ他ノ理事ニ委任スルコトヲ得

(2) 縣參事會ハ堤防ノ利用ニシテ其ノ抵抗力ヲ薄弱ナラシムルモノハ之ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得其ノ制限又ハ禁止ニ因リ權利ヲ侵害セラレタル者ハ維持義務者ニ對シ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

(3) 縣參事會ノ決定ニ對シテハ二週間以内ニ農林務大臣ニ訴願スルコトヲ得

(4) 決定ガ損害賠償ニ關スルトキハ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得其ノ期間ハ制限又ハ禁止ヲ命ズル決定ガ效力ヲ生ジタル時ヨリ起算ス

(5) 縣參事會ノ決定ヲ施行スルニ必要ナル命令ハ縣知事之ヲ定ム

第三百八條

(1) 堤防長及堤防警察事務ノ委任ヲ受ケタル理事ハ其ノ警察命令ヲ第二百二十七條第一項ノ強制手段ニ依リテ強制スル職權ヲ有ス第二百二十七條第二項亦本項ニ之ヲ適用ス

(2) 堤防長及理事ノ警察命令(強制手段ノ豫告確定及執行ヲ含ム)ニ對シテハ二週間以内ニ監督官廳ニ訴願ヲ爲シタル上更ニ同一期間内ニ第二次監督官廳ニ訴願スルコトヲ得訴願ハ裁決官廳又ハ處分官廳ニ提出スベキモトス

(3) 強制手段ノ豫告ニ對スル救済ハ同時ニ此ノ強制手段ヲ執行スベキ命令ニ對シテモ及ブモノトス但シ其ノ命令ハ既に特別ナル訴願ノ目的トナラザリシモノナルコトヲ要ス

第三百九條

(1) 堤防行政廳(理事堤防長)ガ其ノ職權ヲ行使スル場合ニ組合員ニ對シ發スル命令ハ第二百二十七條第一項ノ強制手段ニ依リ之ヲ強制スルコトヲ得第二百二十七條第二項ハ本項ニ之ヲ適用ス

(2) 堤防行政廳ノ命令及決定ニ對シテハ本法ニ依リ出訴スル事ヲ得ザルトキ又ハ定款ニ仲裁裁判手續 *Schiedsgerichtli-*
che Verfahrenノ定ナキトキハ前條第二項及第三項ノ規定ニ依リ訴願スルコトヲ得

第三百十條 (1) 堤防及其ノ附屬施設ノ築造及維持ニ必要ナル費用ハ定款ニ依リ組合ニ屬スル土地ヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得(堤防義務) 土地ガ公課ヲ免除セラレ若ハ特權ヲ附與セラルル場合ト雖亦同ジ賦課ノ標準ハ堤防工事ニ因リテ免カルベキ損害及之ニ因リテ得ラルベキ利益ノ限度ニ應ズベキヲ原則トス但シ特別ナル理由アルトキハ其ノ標準ハ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

(2) 堤防義務ハ之ヲ免除スルコトヲ得ズ

(3) 堤防義務ハ公法上ノ義務ニシテ第二百二十三條並第二百二十四條第一項後段及同第二項ノ適用アリ

(4) 堤防義務ヲ負擔セシメ又ハ義務ノ程度ヲ定ムルニハ第二百二十六條第二項及第三項ヲ適用ス

第三百十一條 (1) 堤防組合ニ屬スル土地及堤外地ノ所有者ハ堤防組合ニ對シ堤防ノ諸設備ニ必要ナル土地ヲ補償ニ代ヘテ讓渡スベキ義務ヲ有ス

(2) 讓渡スベキ土地ノ境界及面積並堤防組合ガ損害防禦ノ爲施設スベキ保護設備及補償金額ハ理事ノ決定ニ依リテ確定ス讓渡スベキ地域ニ對スル土地所有權ハ土地ノ分離義務ヲ決定スル決議ノ效力ヲ生ズルト同時ニ堤防組合ニ移轉スルモノトス

(3) 決定ガ補償ニ關スルトキハ定款ニ仲裁裁判手續ニ依ルベキモノト定メザル場合ニ於テハ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得其ノ期間ハ前項後段ニ定メタル時ヲ以テ起算點トス堤外地ノ所有者ハ補償金ヲ請求シ得ベキ場合ニ於テハ定款ニ仲裁裁判手續ニ附スベキコトヲ定ムルコトヲ得ズ

(4) 一八七四年六月十一日公用徵收法第七條乃至第十四條第十六條第十七條第三十三條第三十六條乃至第三十九條及第四十五條乃至第四十九條ハ本條ニ之ヲ準用ス

(5) 堤防所屬ノ排水灌溉設備ニ關シテハ第二百二十二條ヲ適用ス

第三百十二條 (1) 理事ノ命令ニ依リ補償ニ代ヘ土地所有者ノ負フベキ義務左ノ如シ

一 堤防組合所屬ノ土地及附近地ノ所有者ハ堤防及之ニ附屬スル保護設備ノ施設維持ニ必要ナル土砂石礫芝生粘土其ノ他ノ土壤ヲ其ノ所有スル耕地原野及河沼ヨリ採取スルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

二 附近地ノ所有者ハ堤防及附屬施設ノ築造維持ニ必要ナル所有權制限ニ服スルコトヲ要ス

(2) 前項第二號ニ依リ附近地ノ所有者ニ對シテ加フベキ土地所有權ノ制限ニ關シテハ定款ニ於テ之ヲ定ム補償金額ニ付爭アルトキハ縣參事會之ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ送達後三月以内ニ出訴スルコトヲ得

第三百十三條 前二條ノ場合ニ於テ既存堤防組合ガ其ノ定款中ニ特別ノ規定ヲ有スルトキハ之ニ據ル

第三百十四條 堤防組合ガ既存堤防ノ維持ヲ引受ケタルトキハ其ノ堤防ハ許可又ハ定款ノ成立ト同時ニ堤防組合ノ所有ニ歸ス此ノ堤防ニ付從來ノ所有者ノ利用權ヲ認ムベキヤ否ヤハ定款ノ定ムル所ニ據ル

第三百十五條 (1) 堤防ガ洪水ノ爲危険ナルトキハ危険區域内ノ住民及必要ナルトキハ其ノ附近ノ住民ハ堤防警察廳ノ命令ニ依リ無償ニテ防禦ヲ爲シ必要ナル器具及運搬具ヲ提供スルコトヲ要ス

(2) 堤防警察廳ハ前項ノ場合ニ於テハ直チニ強制手段ニ依リ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得堤防警察廳ハ其ノ場所ニ存在スル危険防禦ノ用ニ供スベキ一切ノ建築材料ヲ損害賠償ノ請求權ヲ留保シ得ル條件ノ下ニ其ノ所有者ヲシテ提供セシムルコトヲ得堤防組合ハ損害ニ對シテ賠償ノ義務ヲ有ス賠償金額ニ付爭アルトキハ縣參事會之ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ送達後三月以内ニ出訴スルコトヲ得

○河川法第二十三條 洪水ノ危険切迫ナルトキハ地方行政官又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ現場ニ於テ直ニ防禦ノ爲ニ必要ナル土地ヲ使用シ土砂竹木其ノ他ノ材料車馬其ノ他ノ運搬具及器具等ヲ使用若ハ徵收シ又ハ其ノ現場ニ在ル者ヲ使役シ又ハ家屋其ノ他ノ障害物ヲ破毀スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ管内ニ於テ夫役ヲ命シ又ハ下級公共團體ニ命ジテ土地材料運搬器具及夫役ヲ供セシメ又ハ市町村長其ノ他ノ市町村吏員等ヲ指揮シテ必要ナル處分ヲナサシムルコトヲ得

地方行政廳ハ其ノ管内ノ下級公共團體ニ命ジテ豫メ洪水防禦ノ爲必要ナル準備ヲナサシムルコトヲ得

○河川法第四十條 第二十三條第一項ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アルトキハ地方行政廳ハ其ノ管内ノ市町村、町村組合若ハ水利組合ニ命ジテ其ノ物件ノ價額ヲ補償セシムルコトヲ得其ノ價額ハ行政廳之ヲ定ム

前項補償ノ手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十六條 (1)堤防組合其ノ總會ニ於テ總員三分ノ二以上ヲ以テ解散ノ決議ヲ爲シタルトキハ縣知事解散ヲ命ズ

(2)堤防組合ノ解散及清算ニ關シテハ第二百七十九條乃至第二百八十二條ノ規定ヲ準用ス

第三百十七條 第二百八條第二百九條第二百一十一條第二百十五條第二百十六條第二百二十一條第二百二十九條第一項第二百零三十條乃至第二百三十四條第二百三十六條第二百三十七條第二百三十九條乃至第二百四十四條第二百七十五條第一項第三項第二百七十六條及第二百七十七條ハ堤防組合ニ之ヲ準用ス

第三百十八條 (1)本法施行ノ際既ニ存在セル堤防組合ニ對シテハ本法ニ依リテ組織セララルル堤防組合ニ適用スヘキ規定ヲ適用ス

(2)前項ニ依リ適用セラルベキ規定ガ定款ニ依リ變更セラレ得ベキモノナルトキ又ハ定款ニ依ルベキモノナルトキハ從前ノ定款中異ナル條項ノ效力ヲ妨ケズ

第六節 堤防組合ニ屬セザル堤防

第三百十九條 (1)多數所有者ノ土地ヲ保護セル既存ノ堤防ニシテ堤防組合ニ屬セザルモノガ全部若ハ一部崩壞シ又ハ自然力若ハ他人ノ侵害ニ因リテ決潰シタルトキハ第一種水流ノ堤防及海堤ニ在リテハ縣參事會其ノ他ノ堤防ニ在リテ

ハ郡(市)參事會ハ關係人ノ申立ニ基キ其ノ堤防ノ維持ヲ怠リタル爲共通ノ危險ヲ生ジタルモノナルトキハ職權ヲ以テ堤防維持義務者ニ對シ堤防ノ復舊ヲ其ノ決定ニ依リテ強制スルコトヲ得

(2)前項ノ堤防ニ付テハ堤防維持義務者ニ對シ堤防ノ現狀ヲ維持スルニ必要ナル處置ヲ取ルベキコトヲ命ズルコトヲ得
 (3)堤防維持義務者不明ナルトキハ假リニ從來維持シ來ル者ニ對シテ必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得其ノ命ヲ受ケタル者ニ於テ負擔力ナキトキハ官廳ニ於テ堤防ニ依リテ保護セラルルモノト認定スル土地ノ所有者ニ對シテ其ノ施設ヲ命ズルコトヲ得堤防維持義務者負擔力ヲ有セザルトキ亦同ジ事危急ニシテ迅速ニ土地所有者ニ施設セシムル能ハザルトキハ堤防ノ所在公共團體ハ必要ニ應ジ堤防ノ維持及再築ニ要スル費用ノ立替ヲ爲スベキモノトス數町村之ニ關係アルトキハ立替フベキ費用ハ其ノ間ニ於テ適當ニ割當テラルベキモノトス

(4)縣(郡、市)參事會ノ決定ニ對シテハ二週間以内ニ農林務大臣ニ訴願スルコトヲ得

(5)縣參事會ノ決定ニ對シテハ縣知事、郡(市)參事會ノ決定ニ對シテハ郡長(地方警察官廳)其ノ施行ニ必要ナル命令ヲ發ス

(6)第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル堤防ノ維持又ハ修築ニ必要ナル費用ノ負擔ハ公共負擔 *Öffentliche Lasten* トス

第三百二十條 堤防ノ維持又ハ再築ヲ假リニ命ゼラレタル者(前條第三項)ハ其ノ費用ノ償還及其ノ給付ニ對スル報酬ヲ裁判ニ訴ヘテ堤防義務者ニ對抗スルコトヲ得

第三百二十一條 (1)堤防築造ノ負擔ガ假リニ定メラレタル場合ニ於テハ將來ニ於ケル給付ヲ定ムル爲堤防組合ヲ組織スベキモノトス但シ承認又ハ裁判ニ依リ負擔力アル堤防維持義務者ガ確定スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

(2)關係人ガ堤防組合ノ組織ヲ拒ミ又ハ其ノ組織ガ共同ノ危險ヲ防禦スル爲必要ナキトキハ爾後堤防ノ維持ハ之ヲ要求セラルルコトナシ

第三百二十二條 第三百七條第二項乃至第五項ノ規定ハ堤防組合ニ屬セザル堤防ニ對シテ之ヲ準用ス

第七節 はんのば州しゆれすういひ・ほるすたいん州ニ關スル特則(省略)

第五章 強制權

一般人民ヲシテ水流ノ齋ラス天惠ニ浴セシメントスルコトガ水流立法ノ根本原則デアルコトハ屢述ベタ所デアル本法ハ此ノ主義ニ則リ一般使用特許等ノ制度ヲ設ケタガ未ダ及バザルトコロアリトシテ水流附近ノ土地所有者ノ利益及權利ヲ多少犧牲ニ供シテモ尙ホ此ノ天惠ノ分配ニ偏頗ナカラシメンコトヲ努メタ本章ニ規定スル所ハ即チ之ニ關スル規定デア

第三百三十條 土地所有者水流ニ非ザル地表ノ流水ヲ自己ノ所有地内ニテハ如何ナル施設ニ依ルモ排水スルコトヲ得ザルトキ又ハ不相當ノ費用ヲ要スルトキハ之ヨリ低キ土地ノ所有者ニ無償ニテ之ヲ收去スルコトヲ要求スルコトヲ得但シ低地所有者其ノ水ヲ更ニ排水スルコトヲ得ザルトキ又ハ之ガ爲巨費ヲ要スルトキハ高地所有者ノ利益著シク低地所有者ノ損害ヲ超過スル場合ニシテ補償ノ提供アル場合ニ限り之ヲ收去スルノ義務ヲ負フモノトス

○民法第二百二十條(前掲)

第三百三十一條 (1)土地ノ排水下水ノ排除又ハ動力機關ノ充分ナル利用ヲ目的トスル起業ノ爲ナルトキハ起業者ハ水流所有者並起業ノ完成ニ必要ナル土地ノ所有者ニ對シ他ニ適當ナル方法ナキ場合又ハ巨額ノ費用ヲ費ヤスニ非サレバ之ヲ完成スルコト能ハザル場合ニシテ且之ヨリ生ズル利益被害者ノ損害ヲ著シク超過スル場合ニ於テハ相當ノ補償ヲ供シテ水ノ疏通ヲ便ナラシムル水流變更工事(浚渫、河幅擴大、掘鑿、轉位)ノ受忍ヲ要求スルコトヲ得

(2)起業ノ目的單ニ水流ヲ天然疏水路トスル土地ノ通常排水ニ在ルトキハ起業者ハ前項ニ依ル權利ノ確認セラルルト同時ニ權利ヲ確認セラレタル區域ニ於テ水面ヲ低下セシメ又ハ水流ニ注水シテ之ヲ高ムル權利ヲ取得ス但シ之ガ爲標準水量ノ變更以外ノ損害ヲ生ゼシムルコトヲ得ズ標準水量ノ變更ニ對シテハ起業者補償ヲ爲スコトヲ要セズ

第三百三十二條

(1) 前條第一項ノ條件具備スルトキハ起業者ハ土地ノ灌漑排水又ハ家用若ハ營業用ニ供スル給水又ハ下水ノ排除ヲ目的トスル起業ノ爲之ニ必要ナル土地ノ所有者ニ對シ相當ノ補償ヲ供シテ水ノ地上又ハ地下貫流及其ノ導水渠ノ維持ヲ受忍スベキコトヲ要求スルコトヲ得此ノ規定ハ之ヲ水流所有者ニモ適用ス

(2) 不潔ノ水ノ貫流ハ土地所有者ニ損害又ハ迷惑ヲ及ボス虞アルトキハ水ノ滲透セザル密閉導水管ニ依ルニ非ザレバ之ヲ許サズ

(3) 第一項ニ依ル要求ハ其ノ起業ガ著シク公益ニ害ヲ及ボス虞アルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得

第三百三十三條

(1) 沿岸地所有者又ハ使用權者ハ自己ノ家事用及家業用(第二十五條第四項)ニ供スル爲自然水流ノ所有者ニ補償ヲ供シテ階段、橋梁、艇庫、洗濯場、繫船杭其ノ他之ニ類スル簡單ナル設備ヲ施スコトヲ受忍セシムルコトヲ得單ニ家事用及家業用ニ供スルモノニ非ザル場合ト雖第四十六條ニ依リ特許ニ關スル規定ノ適用ナキ限り水浴場、物揚場等ノ設置ニ付亦同ジ此等ノ施設ヲ如何ナル狀態ニ於テ維持スルモ公益ニ反スルトキ特ニ水ノ疏通ノ維持、確定計畫書ニ基ク水流工事(第六十三條)及第一種水流ノ舟筏通航規定ト相容レザルトキハ水流警察官廳ノ申請ニ依リ相當期間内ニ之ヲ除却若ハ變更スルコトヲ要シ之ニ對シテハ補償ヲ請求スルコトヲ得ズ

(2) 前項ノ規定ハ第二十五條第三項ニ規定スル水流ニ對シテハ之ヲ適用セズ

第三百三十四條

沿岸地所有權者又ハ使用權者特許權ニ基キ堰水設備ヲ設ケムトスルトキハ對岸地所有者ニ補償ヲ供シテ其ノ沿岸地ニ堰堤ノ附着スルコトヲ受忍セシムルコトヲ得

○民法第二百二十二條

水流地ノ所有者ハ堰ヲ設ケル需要アルトキハ其ノ堰ヲ對岸ニ附着セシムルコトヲ得但之ニ因リテ生ジタル損害ニ對シテ償金ヲ拂フコトヲ要ス

對岸ノ所有者ハ水流地ノ一部ガ其所有ニ屬スルトキハ右ノ堰ヲ使用スルコトヲ得但前條ノ規定ニ從ヒ費用ヲ分擔スルコトヲ要ス

第三百三十五條 第三百三十條乃至第三百三十二條及第三百三十四條ハ之ヲ建物ニ適用セズ又第三百三十二條ノ例外ヲ除キテハ公園及庭園ニ之ヲ適用セズ此等ノ土地ニ於ケル第三百三十二條ノ義務ハ水ノ滲透セザル密閉導水管ニ付テノミ存スルモノトス

第三百三十六條 (1)第三百三十一條第三百三十二條第三百三十四條及第三百三十五條ノ場合ニ於テハ土地所有者ハ起業者ニ對シ相當ノ補償ヲ以テ使用權ノ代リニ其ノ施設ニ必要ナル土地及地盤ノ所有權ヲ取得スルコトヲ要求スルコトヲ妨グズ

(2)土地ノ殘部從來ノ規定ニ從ヘハ最早適當ニ使用シ得ザルトキハ土地所有者ハ其ノ土地全部ノ引受ヲ要求スルコトヲ得

第三百三十七條 第三百三十一條第三百三十二條及第三百三十四條ノ場合ニ於ケル損害ノ量定ニハ被害者ノ受クベキ凡テノ利益ヲ考量ニ加フヘシ

第三百三十八條 堰水權ハ地方文化又ハ舟筏ノ通航上著シキ不利益アルトキハ申請ニ依リ相當ノ補償ヲ供シテ之ヲ剝奪又ハ制限スルコトヲ得

第三百三十九條 (1)土地ノ排水設備又ハ下水處分設備ノ起業者ハ其ノ設備ヲ使用スルニ非ザレバ適當ニ自己ノ土地ノ排水又ハ下水處分ヲ爲スコトヲ得ズ又ハ之ヲ爲スニ巨額ノ費用ヲ要スル者ニ於テ其ノ共同使用ニ因リテ其ノ設備ノ使用又ハ經營ニ著シキ不利益ヲ與ヘズ設備ノ施設費及維持費ノ相當部分ヲ負擔シ共同使用ニ因リ起業者ノ蒙ル損害ヲ賠償シ且起業者ノ要求アルトキハ相當ノ擔保ヲ供スル場合ニ於テハ其ノ者ニ對シ共同使用ヲ許容スベキ義務ヲ負フ設備ヲ適當ニ變更スルニ非ザレバ共同使用ヲ爲スコトヲ得ザル場合ニ於テハ起業者ハ其ノ選擇ニ依リ自ラ之ニ變更ヲ施スカ又ハ變更ヲ加ヘラルルコトヲ受忍スベキ義務ヲ有ス變更費用ハ共同使用希望者ニ於テ其ノ全部ヲ負擔スルモノトス

(2) 灌溉設備ノ起業者亦前項ノ義務ヲ負フ但シ此ノ場合ニ於テハ起業者ハ其ノ設備ノ爲要求セラレタル土地ノ所有者ニ對シテノミ之ヲ負フモノトス

(3) 前二項ノ規定ハ水利組合又ハ堤防組合ニ依リテ施設セラレタル設備ニハ之ヲ適用セズ

○民法第二百二十二條 土地ノ所有者ハ其所有地ノ水ヲ通過セシムル爲メ高地又ハ低地ノ所有者ガ設ケタル工作物ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ他人ノ工作物ヲ使用スル者ハ其利益ヲ受クル割合ニ應ジテ工作物ノ設置及ビ保存ノ費用ヲ分擔スルコトヲ要ス

第三百四十條 (1) 第三百三十條乃至第三百三十九條ニ基ク請求補償及關係人ノ給付義務ニ關シテハ第三百三十條ノ場合

ハ郡(市)參事會其ノ他ノ場合ハ縣參事會之ヲ決定ス縣參事會ハ又第三百三十三條ニ依ル施設ノ除却ニ付決定權ヲ有ス其ノ決定ニハ豫メ關係人ノ意見ヲ徵スベク殊ニ關係土地所有者ニ對シテハ第三百三十六條ニ基ク權利ヲ行使スヘキヤ否ヤニ付其ノ意見ヲ徵スベシ

(2) 郡(市)參事會ノ決定ニ對シテハ補償ニ關係ナキ限り申請者及其ノ他ノ關係人ハ二週間以内ニ訴願スルコトヲ得此ノ訴願ニ對シテハ縣參事會終局的ニ決定ヲ與フ

(3) 其ノ他ノ場合ニ於テハ第七十六條ヲ適用ス

(4) 補償額並其ノ支拂及供託ニ關シテハ第四十五條ノ外公用徵收ノ規定ヲ準用ス

(5) 第四十六條第三項第四十七條第四十九條第一項第三項第四項第五十一條第二項第五十九條第六十三條第六十四條第二項第六十五條第一項第二項第六十九條第七十條第三項第七十一條第七十四條第七十五條第七十七條第一項乃至第三項第七十八條及第八十一條ハ之ヲ準用ス第三百三十一條及第三百三十二條ノ場合ニ於テハ第六十二條ヲ準用ス

(6) 土地所有者ニ對シ縣(郡市)參事會ノ決定アリタル後ニ於テハ土地所有者ハ最早所有權ノ取得(第三百三十六條)

ヲ請求スルコトヲ得ズ

(7) 第三百三十條乃至第三百三十五條ニ依リ受忍義務決定セラレタルトキハ其ノ決定ニ確定力ヲ生ズルト共ニ使用權發生ス此ノ使用權ハ土地登記簿ノ公信力ニ對シ效力ヲ維持スル爲ニハ登記セラルルコトヲ要セズ但シ決定官廳ハ土地登記簿官廳ニ遲滯ナク登記ヲ請求スルコトヲ要ス此ノ規定ハ第三百三十八條第三百三十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス第三百三十一條乃至第三百三十三條ノ場合ニ於ケル水流ニ關スル確認セラレタル權利ニ對シテハ第八十五條第二項ヲ準用ス

第三百四十一條 (1) 補償ノ請求ハ前項第一項ノ決定ナキ場合ト雖被害者ニ於テ郡(市)參事會又ハ縣參事會ノ決定前其ノ不利益ナル影響ヲ豫見セズ又ハ豫見スベカラザリシトキハ之ヲ有效トスルコトヲ得第八十二條第一項末文及同第二項ハ之ヲ準用ス

(2) 此ノ請求ニ對シ決定權ヲ有スルモノハ第三百三十條ノ場合ニ於テハ郡(市)參事會其ノ他ノ場合ニ於テハ縣參事會トス前條第一項第三文第三項及第四項ハ之ヲ適用ス

第六章 水流警察官廳

第三百四十二條 (1) 水流警察官廳左ノ如シ

- 一 第一種水流ニ對シテハ縣知事
- 二 第二種水流及水流ニ非ザル水ニ對シテハ郡長市部ニ在リテハ地方警察官廳警察行政ガ郡長ノ監督ニ服セザル町ニ在リテハ市部ニ於ケルト同ジ
- 三 第三種水流ニ對シテハ地方警察官廳

(2) 貯水池(第六條)ニ對シテハ之ヲ監督スル縣知事水流警察官廳タリ

第三百四十三條 (1) 主務大臣ハ水流警察ノ任務ヲ

一 第一種水流ニ對シテハ其ノ河川區域ヲ管轄スル州知事又ハ縣知事ノ一人ニ委任シ

二 數郡ニ亘ル水利組合ニ依リ維持セラルル第二種水流ニ對シテハ組合ヲ監督スル郡長市部ニ在リテハ地方警察官廳ニ委任スルコトヲ得

(2) 第一種水流ニ於ケル水流警察ノ地方的事務ハ水流警察官廳之ヲ地方土木官吏郡長及下級警察官廳ニ委任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方土木官吏郡長又ハ下級警察官廳ノ處分ニ對スル上訴並其ノ處分ヲ執行スル強制手段ニ付テハ水流警察官廳ニ於テ直接ニ處分ヲ爲シタル場合ト同一ノ規定ヲ準用ス

(3) 水流警察ノ監督又ハ水流警察ノ地方的事務ノ委任ハ其ノ關係府縣ノ官報並郡報及其ノ他ノ適當ナル方法ニテ之ヲ公告スベシ

第三百四十四條 州知事ハ第三種水流ニ付テハ郡ニ於ケル水流警察ノ監督ヲ總括的ニ又ハ箇々ノ場合ニ郡長ニ委任スルコトヲ得總括的ニ委任セラルルトキハ其ノ地方ノ公布例及郡報ニ依リ之ヲ公告スヘシ

第三百四十五條 (1) 第三百四十三條第一項第二號ニ依リ他府縣ニ屬スル郡ノ水流警察事務郡長又ハ地方警察官廳ニ委任セラレタルトキハ其ノ郡長又ハ地方警察官廳ノ上位ニ在ル縣知事他府縣ニ在ル水流ノ區域ニ對シテモ亦監督權ヲ有ス

(2) 第三百四十三條第二項ノ場合ニ於テハ水流警察ノ監督權ヲ有スル縣知事又ハ州知事ハ地方土木官吏郡長及下級警察官廳ニ對シ監督權ヲ有ス

第三百四十六條 州知事ハ本法ニ從ヒ其ノ公權力ヲ行使スルニ當リ發シタル職權上正當ナル命令ヲ縣知事ノ有スル強制手段ニ依リ履行セシムル權限ヲ有ス

第三百四十七條 (1) 州知事ノナシタル水流警察上ノ處分ニ對シテハ二週間以内ニ訴願ヲ爲シ又ハ一八八三年七月三十日

地方行政法第二百二十七條第三項及第四項ニ依リ最上級行政裁判所ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得訴願ハ公ノ船舶航
通ニ對スル水流ノ使用ニ關スルトキハ商工大臣其ノ他ノ場合ニ於テハ土木大臣之ヲ裁決ス

(2) 其ノ他ノ場合ニ於テハ水流警察上ノ處分ニ對スル上訴ハ警察處分ノ取消ニ關スル總則規定ニ依リ之ヲ決定ス

(3) 第三百四十五條ニ依リ縣知事他ノ行政區劃ノ監督權ヲ有スル場合ニ於テハ訴願ノ裁決モ亦其ノ地ノ管轄縣知事ニ代
リ之ヲ行フ地方行政法第二百二十八條第一項乃至第六項ニ依ル訴ニ對シテハ監督權ヲ有スル縣知事ノ任地ノ縣參事會
之ヲ管轄ス

第三百四十八條 (1) 水流警察上ノ警察命令ハ第二百八十四條第三百六條及第三百五十五條ノ場合ヲ除キ水流警察官廳其
ノ管轄ニ屬スル水流警察區劃ニ對シテ之ヲ發ス

(2) 此ノ區劃ヲ越エテ同一州内ノ數箇ノ地方警察區劃郡又ハ縣ニ亘リ警察命令ヲ發スベキトキハ其ノ地ノ管轄郡長縣知
事又ハ州知事之ヲ爲ス

(3) 警察命令違反ニ對スル刑罰豫告警察命令ノ形式其ノ他ノ要件並其ノ施行ニ付テハ警察官廳ノ一般的ニ有スル警察命
令發布權ニ基キ警察命令ヲ發シタル場合ニ適用セラルル規定ヲ適用ス警察命令ヲ無効トスル職權ニ付テハ一八八三
年七月三十日地方行政法第百四十五條ヲ準用ス但シ第一種水流ニ關シテハ此ノ職權ハ商工大臣及土木大臣ニ屬ス

(4) 水流警察事務第三百四十三條第一項ニ依リ一般行政區劃以外ニ亘リテ或ル官廳ニ委任セラルルトキハ警察命令ノ發
布ニ必要ナル規定ハ其ノ警察命令ノ行ハルル區劃ニ對シ土地ノ管轄權ヲ有スル官廳之ヲ定ム其ノ官廳數箇アルトキ
ハ水流警察官廳所在地ノ官廳之ヲ定ム

第三百四十九條 かいぜるういるへるむ運河及えるべ河隣接地ニ對シテハ管轄大臣ハ縣知事ノ水流警察權ヲ帝國運河管
理官廳長官ニ委任シ水流警察事務ニ付第三百四十三條第二項及第三百四十八條ノ規定ニ異ナル定ヲナシ及運河警察官
廳ノ管轄區域ヲ定ムルコトヲ得運河警察官廳ノ處分ニ付テハ縣知事ノ強制權及水流警察處分ニ對スル上訴ニ關スル規

定ヲ準用ス

第三百五十條 水流警察官廳ノ警察區劃ヲ越エテ數州ニ亘ル警察命令ヲ發セントスル場合ニ於テハ第一種水流ニ付テ

ハ商工大臣及土木大臣第二種及第三種水流ニ付テハ農林務大臣之ヲ發ス

第三百五十一條 第三百四十二條第一項第一號第三百四十三條第一項第一號第二項及第三百四十八條乃至第三百五十條ノ規定ニ於ケル第一種水流ニハ第一種水流ニ連結セル内陸港 *Binnenschiffahrtsstätten* 並連絡水路 *Verbindungswasser* ヲ包含ス

第三百五十二條 本法ノ規定ハ一般州法第二部第十七章第十號並之ト共ニ尙其ノ效力ヲ存續スル他ノ法規ニ基キテ水流警察官廳ノ有スル職權ニハ之ヲ適用セズ

第三百五十三條 水流警察官廳ノ評議員トシテ充分ナル技術上ノ教養アル官吏ヲ任命ス其ノ詳細ナル規定ハ施行細則ニ依リ之ヲ定ム

第三百五十四條 流水、氾濫、建設物ノ崩壞又ハ其ノ他ノ非常ナル事變ノ爲危険ヲ生ジ之ヲ除却スル一時的豫防ノ必要アルトキハ附近市町村ハ自己ニ危険ナキ場合ト雖甚シキ損失トナラザル限リ水流警察官廳又ハ地方警察官廳ノ命令ニ應ジ夫役ヲ供シ車馬其ノ他ノ運搬具及建築材料ヲ供シテ之ヲ救援スルコトヲ要ス

第三百五十五條 (1) 水害防禦義務ハ地方條例ニ依リ之ヲ規定スルコトヲ得地方條例之ヲ規定セザルトキハ警察命令ニ依リ水流危険救援義務ニ水害防禦ノ強制參加夫役牛馬力及建築材料ノ提供義務並水流危険ノ際ニ於ケル附近市町村ノ救援義務等ヲ定ムルコトヲ得

(2) 前項ノ警察命令ハ一八八三年七月三十日地方行政法第四百十三條ノ意味ニ於ケル保安警察ノ範圍ニ屬セズ地方條例ニ於テ水害防禦義務ヲ規定スルトキハ其ノ點ニ關スル警察命令ハ效力ヲ失フ

(3) 地方條例ハ一八九三年七月十四日地方税法ノ規定ニ依リテ拘束セラルルコトナシ

第七章 水流検査官 Schauämter

第三百五十六條 (1) 第二種及第三種水流ニ對スル検査官ハ警察命令(検査命令)ニ依リ之ヲ構成ス

(2) 検査官ハ郡又ハ市又ハ郡ノ一部ニ對シ亦之ヲ構成スルコトヲ得

(3) 第二百二十五條ニ依リ州組合(縣組合、地方團體)ニ其ノ維持ヲ委任セラレタル水流並堤防組合ニ維持セラレ又ハ堤防管理官廳ノ監督ニ服スル水流ニ付テハ本章ノ適用ナシ

第三百五十七條 検査官ハ其ノ受持區域ノ水流ヲ必要ニ應ジ時時検査シテ水流及其ノ沿岸ノ適法ニ維持セラルルヤ否ヤ又ハ許可ナクシテ水流ヲ不潔ナラシムル者ナキヤ否ヤヲ確カムル義務ヲ有ス其ノ缺陷ヲ發見シタルトキハ之ヲ水流警察官廳ニ通知スルコトヲ要ス

第三百五十八條 (1) 検査官又ハ其ノ長官ハ水流及沿岸ノ維持ノ爲第百十四條第百十九條及第百二十條ニ從ヒ施行セラルル工事ノ方法程度及其ノ施行ノ時ヲ水流警察官廳ニ代リ警察處分ニ依リ確定スル權限ヲ検査命令ニ依リテ委任セラルルコトヲ妨ケズ(第百三十三條第二項前段) 検査官ノ爲シタル處分ヲ實施スルノ義務ハ其ノ長官ニ屬ス

(2) 検査官又ハ其ノ長官ノ爲シタル警察處分ニ對スル上訴並其ノ處分ノ強制手段ニ付テハ第三百四十二條乃至第三百四十四條ニ從ヒ其ノ水流ノ管轄水流警察官廳ノ處分ニ對スル場合ニ於ケルト同一ノ規定ヲ準用ス検査命令同時ニ第二種及第三種水流ニ關スルトキハ第三種水流ニ對シテモ亦第二種水流ノ警察處分ニ對スルト同一ノ規定ヲ適用ス

(3) 第一項ノ場合ニ於テハ検査官又ハ其ノ長官、維持命令(第百三十三條第二項後段)ニ附シタル執行罰ヲ一八八三年四月二十三日ノ法律ニ依リ水流警察官廳ニ代リ警察處分ニ依リテ確定スル權限ヲ有ス

第三百五十九條 第三百五十七條ノ外検査官ハ又検査命令ニ依リ水流ノ利用ノ監督ヲモ委任セラルルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ検査官ハ其ノ觀察ノ結果ヲ水流警察官廳ニ通知スルコトヲ要ス

第三百六十條 検査官ハ其ノ所管水流ニ對スル水利上ノ鑑定ヲ爲ス權利ヲ有シ且行政官廳ノ請求アルトキハ之ヲ爲ス義務ヲ負フ

第三百六十一條 検査官ハ検査命令ニ依リ之ヲ構成シ能フ限り多クノ營利的集團及公共組合ニシテ其ノ所屬水流ノ維持又ハ利用ニ付利害關係ヲ有スル者ヲ代表セシムルヲ以テ其ノ目的トス検査官構成員及其ノ代理人選舉ニ依リ任命セラルベキトキハ郡會（市會）ハ六年ノ任期ヲ以テ之ヲ選任スルコトヲ要ス検査官構成員トシテ關係水流警察管理人亦任命セラルルコトヲ妨グズ其ノ中ノ一人ヲ長官トスルモ妨グナシ

第三百六十二條 検査官ハ検査命令ニ別段ノ定ナキ限り多數決ニ依リ決定ヲ爲スモノトス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三百六十三條 検査官ハ少クトモ其ノ構成員三人ノ出席ナキトキハ決定ヲ爲スコトヲ得ズ検査命令ハ此ノ決定能力ニ付更ニ多數ノ出席者ヲ必要トスルコトヲ定ムルコトヲ得

第三百六十四條 (1) 郡ニ對スル検査官ノ費用ハ郡、市郡ニ在リテハ市之ヲ負擔ス

(2) 選任セラレタル検査官構成員ニ對シテハ郡會（市會）ノ決議ニ依リ其ノ検査官ノ検査及評議ニ關與スルコトニ對シ補償ヲ給スルコトヲ得

(3) 検査官ノ検査及評議ニ技術官ノ關係シタル費用ハ國ノ負擔トス

第三百六十五條 水流維持義務水利組合ノ負擔ニ屬スルトキハ検査命令ニ依リ検査官ハ第二百三十七條ニ規定スル組合施設ノ検査ヲ同條ノ検査委員會ニ代リ爲スベキコトヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合ノ理事ハ検査官ニ於テ之ヲ代理スルコトヲ要ス

第三百六十六條 水流警察官廳及検査官並其ノ委任狀ヲ有スル受任者ハ水流ヲ検査シ之ヲ通航シ及其ノ沿岸ニ立入ル權利ヲ有ス第百三十五條第二項及第百四十八條ハ之ヲ準用ス

第八章 水流顧問 Wasserbeiräte

第三百六十七條 (1)各州ニ水流顧問ヲ置ク水流顧問ハ本法ニ依リ委任セラレタル特別事務ノ外其ノ州ニ關係アル重要ナル水利上ノ事務ニ關シ主務大臣ヨリ意見ヲ徵サレ又ハ之ニ關スル意見ヲ獨立シテ主務大臣ニ具申スル權利義務ヲ有ス 特許官廳ハ其ノ決定ノ準備ノ爲水流顧問ノ意見ヲ聞クコトヲ得ぶらんでんぶるく州ノ水流顧問ハ同時ニ之ヲ伯林市ノ水流顧問トス

第三百六十八條

(1)水流顧問ノ議長及其ノ代理人ハ勅任トス其ノ他ノ職員及其ノ代理人ノ三分ノ一ハ州議會ニ依リ残りノ三分ノ二ハ農業代議院、商業代議院及手工業代議院ニ依リ選任セラルルモノトス

(2)州議會ニ依リ選任セラルル職員ハ市部及郡部ヨリ各其ノ半數ヲ選出ス農業代議院商業代議院及手工業代議院ニ依リ選任セラルル職員ノ數ハ勅令ニ依リ其ノ州ノ經濟關係及關係組合ノ地位ニ應ジ有權者團體ノ間ニ配分セラル

(3)前二項ノ規定ハぶらんでんぶるく州及伯林市ノ水流顧問選舉ニモ亦適用セラル但シ州議會ニ依リ選舉セラルル職員ノ三分ノ一ハ伯林市ノ町參事會及市會ニ依リテ選任セラルコトヲ要ス

(4)任命及選舉ノ有効期間ハ六年トス退任職員ハ如何ナル場合ト雖新任者又ハ新ニ選舉セラレタル者ノ就任スル迄ハ其ノ執務ヲ繼續スルコトヲ要ス

(5)水流顧問ハ其ノ決議ノ準備ノ爲常設參事會 Ständige Ausschüsse ヲ設置スルコトヲ得水流顧問及參事會ノ事務經過 Geschichtsgang 並參事會ノ構成ハ處務規程ニ依リ之ヲ定ム處務規程ハ水流顧問其ノ草案ヲ作り農林務大臣、土木大臣及商工大臣ノ認可ヲ經ベキモノトス

第三百六十九條 水流顧問ニ關スル細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九章 中央水流官廳 Landeswasseramt

第三百七十條 (1) 中央水流官廳ハ之ヲ伯林市ニ置キ左ノ各號ニ該當スル者ヲ以テ之ヲ構成ス

一 長官一人及判事又ハ高級行政官ノ資格ヲ有スル常任職員ノ一定必要數

二 水流事務ニ通ズル陪審官

全構成員ノ任命ハ勅令ニ依ル長官及常任職員ハ終身官トシ陪審官ノ任期ハ六年トス

(2) 陪審官ハ名譽職トス

(3) 何人ト雖縣參事會ノ會員タルト同時ニ中央水流官廳ノ構成員タルコトヲ得ズ

第三百七十一條

(1) 中央水流官廳ハ三人ノ終身官及二人ノ陪審官出席スルニ非ザレバ決議スルコトヲ得ズ長官又ハ常任職員ノ中ノ一人其ノ議長トナル

(2) 陪審官ノ立會ハ豫メ定メラレタル順序ニ依ル長官若シ特別ノ理由ニ依リ其ノ順序ヲ變スルトキハ書面ヲ以テ之ヲ告知スルコトヲ要ス

(3) 裁判所構成員ノ除斥忌避ニ關スル民事訴訟ノ規定ハ之ヲ裁判ニ關與スル總テノ者ニ準用ス

第三百七十二條

(1) 中央水流官廳ノ長官及構成員ニハ行政裁判所ノ構成及行政訴訟手續ニ關スル一八七五年七月三日及一八八〇年八月二日ノ法律第二十條乃至第二十五條ノ規定ヲ適用ス懲戒手續ニ於テハ中央水流官廳ノ長官最高行政

裁判所ノ長官ニ代リ中央水流官廳ノ聯合部最高行政裁判所ノ聯合部ニ代ル聯合部ハ長官又ハ其ノ代理人ヲ部長トシ殘餘ノ常任職員全部及之ト同數ノ陪審官ニ依リ組織セラル裁判ノ決定ハ部長ヲ除キ常任職員ノ過半數ヲ以テ之ヲ行フ

(2) 中央水流官廳ニ任用セラルル中級裁判官及屬官ニ對スル懲戒ハ一八五二年七月二十一日普通文官贖職罪其ノ他ニ關スル法律ニ依リ各省大臣ノ下級官吏ニ對シテ有スルト同一ノ職權ヲ以テ長官之ヲ行フ長官ハ又免官ニ關スル懲戒手續ノ開始調査委員檢事代理ノ任命ヲ行フ前項ニ規定スル人員ヲ有スル中央水流官廳ハ第一審裁判所ニシテ又終審裁

判所ナリトス

第三百七十三條 中央水流官廳ノ設置、構成、事務經過及手續ニ關スル細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十章 罰 則

罰則ニ關シテハ河川法ハ第五十八條ニ「此ノ法律ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シテハ命令ヲ以テ二百圓以内ノ罰金若ハ一年以下ノ禁錮ノ罰則ヲ設クルコトヲ得」ト云ツテキル而シテ本條ニ依ツテ發セラレタ命令ニハ明治三十三年四月十六日勅令第一四八號ガアル即チ左ノ如クデアアル

河川法第五十八條ニ依レル罰則ノ件

第一條 許可ヲ受ケズシテ河川法第十七條ニ記載スル工事ヲ施行シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其ノ許可ヲ受ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ一箇年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ三箇月以下ノ重禁錮ニ處ス

一 許可ヲ受ケズシテ河川ノ敷地若ハ流水ヲ占用シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其ノ許可ヲ受ケタル者

二 河川法第二十三條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ地方行政廳又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ノ命ニ從ハザル者

三 許可ヲ受ケズシテ舟筏ヨリ通航料ヲ徵收シ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ其ノ許可ヲ受ケタル者

右ノ外河川法施行規程第十三條ニハ「内務大臣ハ河川法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シ其ノ發スル所ノ命令ニ二十五圓以内ノ罰金若ハ二十五日以下ノ禁錮ノ罰則ヲ附スルコトヲ得

府縣知事及警視總監ハ河川法ニ規定シタル私人ノ義務ニ關シ其ノ發スル所ノ命令ニ十圓以内ノ罰金若ハ拘留ノ罰則ヲ附スルコトヲ得」ト規定シテキル

第三百七十四條 第二百八十五條第二項及第二百九十一條ニ依リ其ノ設置、擴張、移轉及除却ヲ爲スニ付許可ヲ必要ト

スル盛土又ハ工作物ヲ許可ナクシテ設置、擴張、移轉又ハ除却シタル者及許可條件ヲ遵守セザル者ハ三百馬克以内ノ罰金ニ處ス但シ他ノ刑罰法規ニ依リ其ノ以上ノ嚴罰ニ處セラルル者ハ此ノ限ニ在ラズ若シ罰金ヲ完納セザルトキハ之ヲ禁錮ニ處ス

第三百七十五條 (1)第二十三條又ハ第九十九條第二項後段ニ違反シテ水ヲ不潔ナラシムル虞アル水其ノ他ノ流動物ヲ水流ニ注入シ又ハ第九十四條第九十九條第一項第一條第一項乃至第三項若ハ第七十二條第二號ニ依リ水ヲ清潔ニ保ツ爲ノ規定ニ故意ニ違反スル行爲ヲ爲ス者ハ三百馬克以内ノ罰金又ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス但シ他ノ刑罰法規ニ依リ其ノ以上ノ嚴罰ニ處セラルルトキハ此ノ限ニ在ラズ

(2)前項ノ違法行爲ニシテ過失ニ基クトキハ百五十馬克以内ノ罰金又ハ拘留ニ處ス

第三百七十六條 (1)第二十三條又ハ第九十九條第二項後段ノ規定ニ違反シテ水ヲ不潔ナラシムル虞アル水其ノ流動物ヲ水流ニ注入スルトキハ起業者及營業指揮者 *Betriebsleiter* ハ行爲者ノ處罰ト關係ナク五十馬克乃至五百馬克ノ罰金ニ處ス

(2)第九十四條第九十九條第一項第百條又ハ第一百一條第一項乃至第三項ノ規定ニ違反スル行爲ヲ爲シタル堰水權利者ハ十馬克乃至五百馬克ノ罰金ニ處ス

(3)起業者、營業指揮者及堰水權利者ハ故意ニ違法行爲ヲ爲シタル場合及自ら經營ノ監督ヲ爲シ若ハ監督者ノ選任ヲ爲スニ付必要ナル注意ヲ怠リタル場合ノ外之ヲ罰スルコトヲ得ズ

第三百七十七條 (1)特許手續、調停手續、保全手續、第百三條ニ依ル手續又ハ強制權設定手續ニ立合ヒタル鑑定人ハ一 其ノ手續ニ於テ知リタル營業上ノ秘密ヲ故ナクシテ洩シタル場合ニ於テハ千五百馬克以内ノ罰金又ハ三箇月以下ノ禁錮ニ處ス

二 其ノ手續ニ於テ知リタル營業上ノ秘密ヲ營業起業者ニ損害ヲ與フル目的ヲ以テ故意ニ發表シ又ハ其ノ秘密ニ屬

スル營業設備若ハ營業方法ヲ模倣シタル場合ニ於テハ二年以下ノ禁錮ニ處ス自己又ハ他人ニ金錢上ノ利益ヲ與フ
ル爲斯カル行爲ヲ爲ストキハ禁錮ノ刑ノ外三千馬克以内ノ罰金刑ヲ附加スルコトヲ得

(2)前項第一號ノ場合ニ於テハ營業起業者ノ申請アル場合ニ限り之ヲ罰スルモノトス

第三百七十八條 第三百七十四條及第三百七十五條ノ罰則ハ一八八三年七月三十日地方行政法第三百二十二條第二號ニ依
リ警察官廳ガ其ノ命令ヲ強制スル爲ニ罰金ヲ豫告確定スルコトヲ妨グズ

第十一章 經過法及附則(略ス)

(完)